

ねっとわあく

246
SEPTEMBER



長野県生協連主催 福島の子どもの保養プロジェクト
「コヨットinながの」栄村秋山郷チャレンジキャンプ(関連記事は、2ページに掲載しています。)

CONTENTS

●福島の子どもの保養プロジェクト報告

- ・コヨット in ながの
栄村秋山郷チャレンジキャンプ…………… 2

●研修会報告

- ・県連防災学習会…………… 3

●機関会議報告

- ・第3回理事会…………… 3

●県生協連活動報告

- ・第1回医療部会…………… 4
- ・第2回介護福祉部会…………… 4
- ・県連職員交流集会…………… 4
- ・活動担当者交流会…………… 5
- ・会員生協理事長・専務理事懇談会…………… 5
- ・大学生協体験プログラム…………… 6

●消団連活動報告

- ・第4回幹事会…………… 7

●協同組合間等活動報告

- ・長野県協同組合シンポジウム…………… 7
- ・長野県協同組合フェスティバル2016
第3回実行委員会…………… 8

●その他の取組

- ・長野県虹の会第29回定期総会…………… 8
- ・大学生協食堂での「食育ランチ」…………… 9
- ・2016年長野県網の目平和行進…………… 9

●お知らせ

- ・長野県協同組合フェスティバル2016…………… 10

●INFORMATION…………… 10

福島の子ども保養プロジェクト報告

コヨット in ながの「チャレンジキャンプ」を開催しました

7月28日（木）から31日（日）の4日間、長野県生協連主催、栄村振興公社とNPO法人信州アウトドアプロジェクトの協力により、長野県栄村秋山郷（のよさの里オートキャンプ場、切明温泉）にて、福島の子ども保養プロジェクト【コヨット in ながの 長野県栄村秘境秋山郷チャレンジキャンプ！】を開催しました。この取り組みは、福島県の被災地の子どもたちに秋山郷でのキャンプなどの自然体験を通して、リフレッシュの場を提供し、被災地である栄村の支援にもつなげようと企画され今年で4年目になります。福島県からの参加者は子ども21人（小4～小6）でした。プログラム内容は、秋山郷の森や池の探検・生き物探し・川遊び・秘密基地づくり・流しそうめん・お祭りなどで、三泊四日のテント泊です。初日は不安な表情だった子どもたちも、運営スタッフの協力のおかげで無事に全員がキラキラした笑顔でキャンプを終了することができました。



◆参加者の声（抜粋）



四日間班ですごして、三つの目標「自分の仕事をする、仲間と協力する、無視しない」を守って、みんなで楽しくすごせてとてもよかったです。



はじめて2階建て新幹線に乗りました。すごくワクワクしました。一日目の夜の豚丼はみんなで協力したので、美味しくできました。二日目は森へ探検に行きました。カモシカがいてビックリしました。



初めてのキャンプ、初めてテントで寝ました。初めての森遊びで、クワガタは見つからなかったけど、イモリがたくさんいた。川遊びで、川で流れるのが、すごく楽しかったので、僕は12回流されました。

防災学習会を開催しました

日時：7月12日（火） 13時00分～16時00分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：32名（8会員生協）

内容：学習会では「地域で暮らすための減災学習」と「地域の防災活動活性化のために私たちにできること」をテーマに、まちかど防災『減災塾』塾長の水島重光氏と長野県危機管理防災課より、島田俊彦課長補佐兼防災係長を講師にお招きして開催いたしました。

一つめの講演では、「地域でくらすための減災学習」～いかに孤立を減らすか～と題して、水島重光氏にご講演いただきました。参加者自らの減災チェック・熊本地震の事例・過去の地震発生時にどんな状況が生まれたのか？を写真を交えて学びました。その中で、私たちが日常的に備える準備についてなど、具体的なお話はとても参考になるものでした。二つめは県の出前講座として、「災害クロロード・防災演習」を長野県危機管理防災課の島田俊彦課長補佐に実施いただきました。災害発生時の場面を想定して、その時の対応を考える訓練方法で、災害時に対応を自らの問題として考え、そして自分とは異なる意見・価値観の存在に気づくことを目的に行いました。参加者からは、「参加型の学習会なので、自分自身が考えるのと同時に、他の参加者の考え方や意見を聞き、防災・減災の意識を高める良い機会になりました」との声も聞かれました。



『減災塾』塾長 水島重光氏の講演



島田俊彦課長補佐兼防災係長

機関会議報告

第3回理事会を開催しました

日時：8月19日（金） 13時00分～14時20分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：11名（理事10名：監事1名）

内容：以下の案件について審議を行い、承認しました。

1. OB会総会の開催計画
2. 地方消費者フォーラムの地元実行委員会への参加と県生協連会員への参加呼びかけについて
3. 県労協協県政要望の消費者行政関連要望について
4. 県議会会派代表との懇談会について

続いて、第2回理事会以降の機関会議、活動報告や行政・他団体から提供された情報を報告し、すべて承認されました。



県生協連活動報告

第1回医療部会が開催されました

日時：6月30日（木） 14時00分～16時00分

場所：東信医療生協1階地域交流室（上田市）

出席：4名（長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、県生協連）

内容：部会長に谷口亮一氏（長野医療生協）を選出し、谷口部会長が議事を進行しました。

1. 事務局が前回の部会及び第1回介護福祉部会報告を行い、確認しました。
2. 事務局が以下の提案を行い、確認しました。
 - ・県外視察研修について
 - ・研修会、講演会について
 - ・経営課題について
3. 各会員生協の活動交流



第2回介護福祉部会が開催されました

日時：7月26日（火） 10時30分～12時30分

場所：コープながの本部 2階会議室（長野市）

出席：8名（長野医療生協、コープながの、東信医療生協、上伊那医療生協、高齢者生協、県生協連）

内容：丸橋部会長が挨拶し議事を進行した。

- (1) 第1回介護福祉部会報告の確認
- (2) 2016年度の介護福祉部会活動計画
 - ①介護福祉交流会（上伊那エリア）計画について。
 - ②介護福祉交流会（長野市長池エリア）計画について。
 - ③介護福祉部会の県外視察について
- (3) 研修会について
- (4) 各会員生協の活動交流



県生協連活動報告

県連職員交流集会を開催しました

日時：7月22日（金） 13時30分～16時30分

場所：ホテルメトロポリタン長野3階飯網の間（長野市）

出席：23名

内容：冒頭、司会の県生協連牛澤高志専務理事が進行し、上田均会長理事が主催者挨拶を行いました。

「次代を担う職員が組織を超えて互いに学び交流をする中で、自らの仕事の原点を見つめ直し、新たな気づきや発見をして明日からの仕事に活かしていくことを目的に開催しています。」と話され

ました。前半の学習会は日本生協連中央地連の木戸玲子事務局長の「生活協同組合の歴史と今日の役割～ロッチデールから現代まで～」と題した講演でした。始めにDVD「ロッチデールの人々」を視聴し、協同組合とは何か？日本と世界の協同組合や日本の生協の2020年ビジョンなど、誕生から歴史、協同組合原則、そして今日の生協の役割について学ぶことができました。グループワークの後半では自分の仕事や自分の生協の夢や目標について交流しました。各グループによるグループワークの内容発表では、「組織は違うが、みんな組合員のことを思っているんだ」、「互いの気持ちの共有ができ、つながりを感じた」、「組合員（施設利用者）のニーズをくみ取り実践したい」、「部下の育成に悩んでいる人が多かった」、「生協だからできる横のつながりを感じた」など、互いの仕事の意味や課題を聞き、夢や目標を交流する中で、大きな刺激や発見がありました。

学習会・グループ討議の後は、親睦交流会が行われ、参加者が互いに親睦を深めました。



木戸玲子事務局長

活動担当者交流会を開催しました

日時：8月2日（火） 13時00分～15時30分

場所：コープながの長野稲里店組合員ルーム（長野市）

出席：13名（11会員生協）

内容：冒頭、牛澤高志専務が会議の趣旨説明を含めて開会挨拶の後、会議の進行を行いました。会員生協より組織紹介・活動内容の報告があり、それぞれの参加者からは、お互いの活動での共通点や協力・協働できそうな内容について、活発な質疑応答が行われました。参加者からは「初めて互いの活動内容を聞く機会ができ、有意義だった」との声も聞かれました。



会員生協理事長・専務理事懇談会を開催しました

日時：8月19日（金） 15時00分～17時00分

場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

出席：25名（会員生協の理事長・専務理事及び県生協連役員・事務局）

内容：冒頭、上田均会長理事が主催者挨拶を行い、続いて牛澤高志専務理事が県生協連の主な上期の活動について報告を行いました。学習講演会では「『触れる地球』と考える地球環境問題と温暖化」と題して、長野県地球温暖化防止活動推進員で気象予報士の宮澤信氏よりご講演をいただきました。実際の地球上での自然現象や人類の経済活動、環境変化を学ぶことができ、改めて日頃の環境を意識した一つひとつの活動の重要性を学ぶ時間となりました。



その後は、参加会員からそれぞれの生協の環境活動について交流をおこないました。懇談会了後は、懇親会を開催し、参加生協よりそれぞれ会員生協のご紹介をいただき、交流を深めました。

2016年度県内大学生協学生委員県内生協体験プログラムを開催しました

日時：第1回8月18日（木）／ 第2回8月22日（月）

場所：第1回（東信地域）・第2回（南信地域）

出席：第1回3名（学生3名・事務局2名）・第2回5名（学生5名・事務局2名）

内容：2015年度より2年目の取組として、大学生協の学生委員会の皆さんが、県内の生協施設見学や取引先見学、コープ商品の試食を通じて、県内の生協の活動を学ぶことを目的に、「第1回・第2回県内大学生協学生委員向け、県内生協体験プログラム」が開催されました。第1回目8月18日（木）は、信越明星(株)塩尻工場／(株)信州ハム本社工場／東信医療生協複合型施設／コープ商品の試食学習／コープながの上田センターを視察し、懇談をしました。

第2回目8月22日（月）は伊那食品工業(株)本社工場見学／上伊那医療生協 生協総合ケアセンターいな／コープ商品の試食学習／協栄流通(株)須坂グロサリー集品センター（コープながの）を視察し、懇談をしました。

参加した学生委員からは「生協にゆかりのある企業を訪問し、コープの商品が「組合員の想いに応える」商品であり、シェアを維持していることが分かった。」「様々な見学先で案内や紹介してくれた人たちは、みんな自分の仕事に対する理解がとても深く、責任を持って仕事をしていると感じた。そんな大人がかっこいいと感じた。」などの感想が寄せられました。



第1回目／(株)信州ハム本社工場



第1回目／コープながの上田センター



第2回目／伊那食品工業(株)本社工場

第4回幹事会を開催しました

日時：7月25日（月） 10時30分～12時00分

場所：長野県婦人会館 1階会議室（長野市）

出席：14名（幹事・監事10名、事務局4名）

内容：鵜飼会長が議長を務め、議事を進行しました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、協議を行い承認されました。

- (1) 2016年度市町村行政調査の結果のまとめ
- (2) 市町村消費者行政と消費者団体・消費生活サポーターとの懇談会開催計画
- (3) 第46回長野県消費者大会開催計画（3次案）
- (4) 地方消費者フォーラム長野県実行委員会に向けて
- (5) 適格消費者団体の検討



協同組合間活動報告

長野県協同組合シンポジウムが開催されました

日時：7月19日（火） 13時30分～16時30分

場所：JAアクティールホール（長野市）

出席：190名（構成団体役職員・組合員）

内容：農業法人株式会社 秋津野の代表取締役社長の玉井常貴様より「『秋津野』未来への挑戦」と題して基調講演をいただきました。平成6年に地域づくり塾『秋津野塾』を結成して、地域住民の手でコツコツと時間をかけて積み上げて、住民総意の意思で生み出してきた事業の数々の取り組みを具体的にわかりやすくお話しいただきました。事例報告では、鳥根県でJAくにびき・松江保健生協・生協しまね・5つの各おたがいさまが設立団体となり、オブザーバーとして鳥根県社協・松江市社協が関わって運営している「地域つながりセンター」の事務局で常任幹事の清原春美様の取り組みのご報告をお聞きしました。基本方針として、「だれもが、“自分らしく生きること”を大切に、地域の中で、医療・介護・くらしをつなぎ「より多くの人々が安心して住み続けられる地域づくり」を！」、「「おたがいさま」が鳥根県全体に広がり、日々の暮らしに元気・暖かさ・安心感が広がりますように！」を掲げて、現在活動を進めています。自分たちで考え、行政や地域との関わりを広げ、地域に広げて来た経緯を具体的にお話しいただき、大変勉強になりました。



玉井常貴社長の基調講演



清原春美常任幹事の事例報告

協同組合間活動報告

長野県協同組合フェスティバル2016 第3回実行委員会が開催されました

日時：7月25日（月） 13時30分～14時40分

場所：エムウェーブ会議室（長野市）

出席：23名（長野県協同組合連絡会構成団体の役員及び構成団体の会員）

内容：牛澤高志事務局長が開会挨拶を行い、議事を進行了ました。

- (1) 第2回実行委員会
- (2) 出展ブース一覧
- (3) 会場レイアウト・駐車場・案内看板・ブース表示
- (4) 企画（出展数、実行委員会企画、ステージ企画）
- (5) 広報（告知チラシ確定・パンフレット・パブリシティ）
- (6) 諸事項（スタッフ証、MC、昼食、前日・当日の要員体制、緊急時の対応）



その他の取り組み

長野県虹の会第29回定期総会が開催されました

日時：7月14日（木） 14時00分～17時30分

場所：信越明星(株)下塩尻工場（上田市）

出席：22名（15会員、県生協連役員）

内容：同会は、長野県に拠点を持つC O O P商品の製造流通業者18社と県生協連やコープながの、信州大学生協、セイコーエプソン生協の22会員で構成されています。今回の定期総会には15会員22名が参加しました。定期総会に先立つ信越明星(株)の新工場（下塩尻工場）の視察では、大谷昌史代表取締役社長より会社の沿革、新工場のコンセプト、商品のこだわり、品質管理などのご講演をいただきその後、視察を行いました。その後、日本生活協同組合連合会の尾辻雅昭常務執行役員より、全国生協の事業概要・日本生協連の事業概況・日生協ブランド刷新のポイント・ビジョンと基本方針についてご講演をいただきました。



大谷昌史代表世話人の挨拶



尾辻雅昭常務執行役員の講演

高田学世話人（長野県農協直販(株)代表取締役社長）の開会挨拶、大谷昌史代表世話人（信越明星(株)代表取締役社長）の挨拶に続き、県生協連の上田均会長理事が挨拶を行いました。議長には、大谷代表世話人が選任され議事を進行了ました。すべての議案が可決承認されました。すべての議事を終了し、高田世話人より閉会の挨拶がありました。定期総会終了後は、会員相互の交流を深めることを目的に交流懇親会を行いました。

県内の大学生協で食育ランチを提供しました

県内大学生協の8つの食堂にて、7月20日(水)、21日(木)に食育ランチが実施され、合計900食のランチが提供されました。食育ランチの取り組みは平成19年からの取り組みになります。平成19年6月19日に(国が定めた6月の食育月間及び毎月19日の「食育の日」にあわせ)信州大学工学部食堂(長野市)で100食を提供したのが始まりで、翌年から長野県産食材が豊かで調達しやすい7月実施に替わり提供場所が増えて、以降毎年7月の「食育の日」を中心に800食~900食の提供をしています。食育ランチでは当初から次の3点に配慮しています。①メニューは「信濃の国 食事バランスガイド」で例示した料理を参考にすること。②長野県産の旬の食材をできる限り用いること。③男子学生が一日に摂取すべき望ましいカロリーを目安に、その1/3程度(850~900kcal)のボリュームにすること。食べている学生さんの感想としては、「夏らしいメニューで食べやすく美味しい。」との声が多くありました。この企画は、関東農政局・長野県栄養士会のご協力をいただいております。また食材のご提供では長野県虹の会(長野県内の生協とお取引のある企業の会)の農協直販(株)、信州ハム(株)、(株)みすずコーポレーション、伊那食品工場(株)、そして、J A長野県農産物PR協議会に大変お世話になっております。



2016年核兵器廃絶 長野県網の目平和進行が行われました

日時：7月1日(金)~7月8日(金) 新潟県→長野県→群馬県
7月1日(金)~7月13日(水) 新潟県→長野県→山梨県

内容：2016年長野県網の目国民平和進行が「核兵器のない世界」の実現、憲法9条と「非核三原則」の輝く日本の実現を目指して実施されました。被爆71年目の今年は、5月8日に北海道の礼文島を出発し、スタートしました。多くの国と地域から「核兵器のない世界」を求める人々の声が大きく広がっている中で、国民平和進行は全国各地から広島・長崎に向け、平和と核兵器廃絶を願いながら誰でも参加できる行動として58年間続いています。今年7月1日に新潟県から引き継ぎ、県内を縦断して7月8日(金)群馬県へ、7月13日山梨県へ引き継がれます。



7月5日(火)には、長野県庁前にて出発式が行われ、全国の通し行進者の山田太枝さん、県内通し行進者の中村幹夫氏の決意表明がありました。長野県生協連からはベナント参加も行いました。

県庁前を出発式終了後、集会参加者全員でバスターミナル前まで沿道の市民や通行される方々に平和と核兵器廃絶を訴えながら行進しました。